

彙報 (令和元年度)

身延山大学国際日蓮学研究所は令和元年度において以下の活動を行った。

○令和元年度 国際日蓮学研究所例会

【第一回】令和元年一月一四日(木)

日蓮と密教

ルチア・ドルチェ

(ロンドン大学アジア・アフリカ研究院、

日本宗教学センター長)

○第七二回日蓮宗教学研究発表大会

第七二回日蓮宗教学研究発表大会が令和元年一月八日(金)から九日(土)にかけて、立正大学(品川キャンパス)にて開催された。

○大会役員

顧問 身延山学園理事長・身延山大学長

副会長 身延山大学仏教学部長

副会長 身延山大学国際日蓮学研究所長

【個人発表】(当研究所関係者のみ)

・身延山流声明の成立と展開に関する試論

・近世日蓮宗寺院における伽藍配置の特徴

— 滝谷妙成寺の事例を中心に —

持田貫宣

望月真澄

池上要靖

池上要靖

池上要靖

望月真澄

・『観心本尊抄』の題号について

・本妙日臨における日蓮聖人図顕大曼荼羅の書写

— 始願本尊を中心に —

・日蓮宗寺院と大名家 — 恵光寺と水野家 —

庵谷行亭
桑名法晃
木村中一

○ラオス世界遺産修復プロジェクト

「プロジェクト実施内容」

一、期 間…令和二年二月一三日～三月一〇日

二、場 所…ラオス人民民主共和国ルアンパバーン世界遺産

地域

三、参加者…日本側…一五名

(池上要靖、木村中一、柳本伊左雄、Jill Emma

Strothman 他)

…ラオス側…一四名

「活動内容」

一、木彫仏修復

ラオス修復技術習得者二名 (Mr.Sithong, Mr.Oudon) に加え、ルアンパバーン国立工芸大学学生の四名に仏像修復指導を行い、それぞれに二体計四体の木彫仏修復を行う。仏像はワット・ヴィスンの木彫、また新たに現地住民より依頼のあったワット・タットノイの火災被災仏の修復に着手する。

二、ワット・アーパイ寺院大仏修復

破損が進み、大きく欠落が懸念されるワット・アーパイ寺院の大仏の修復に着手する。また以前より進めてきたパタイフンの研究を基に、剝離部分への樹脂含浸、アンカーの打ち込み、パタイフン充填を行う。さらに漆箔と古色を施す。

「身延山大学ラオス交流仏像修復事業20周年記念 ラオス世界遺産地域寺院参拝団」

令和元年度は本プロジェクト二〇周年の節目に当たり、それを記念して日蓮宗総本山身延山久遠寺主催・身延山大学共催で「ラオス世界遺産地域寺院参拝団」を組織し、記念式典・法要（二月一九日）並びに修復作業場の視察が行われた。

一、ラオス世界遺産地域寺院参拝団 日程

令和二年二月一八日～二月二二日

二、身延山大学ラオス交流仏像修復事業20周年記念式典・法要

挙行日 令和二年二月一九日（水）

場 所 ルアンパバーン・ワット・ビシンナラート

法要導師 身延山久遠寺総務 持田日勇

（身延山学園理事長・身延山大学長）

法要副導師 北山本門寺貫首 旭 日重 他

修性院御主 浜島典彦（修法導師）

智寂坊御主 池上要靖

妙源寺御主 増田寶泉

等覚寺御主 深澤尊明

常泉寺御主 貫名英舜

他、式衆

○国際日蓮学研究所役職員（令和元年度）

顧問

岩田諦静、上田本昌、庵谷行亨、岡田行弘、

岡田真水、加賀美尤祥、北村愛子、高橋堯昭、

武見敬三、長澤市郎、浜島典彦、宮川了篤、

望月海淑、山田英美、渡邊寶陽

所 長 池上要靖

主 任 木村中一

副 任 岡田文弘

所 員 池上要靖、伊東久実、岡田文弘、金 炳坤、

木村中一、高橋賢充、田沼 朗、間宮啓壬、

望月海慧、望月真澄

客員所員 金 天鶴、桑名貫正、小谷みどり、庄司史生、

鈴木隆泰、田淵和子、都守基一、寺尾英智、

長又高夫、檜木博之、名和隆乾、福土慈稔、

三輪是法、柳本伊左雄、吉田永正 Jonathan Alan Silk、

Jacqueline Iyese Stone、Lucia Dora Dolce、

研究員 木村良勢、桑名法晃、佐々木さち子、鈴木 稔、

手塚知子、建守善之、富山美由紀、中井本勝、

中野宏子、西 康友、林 是恭、榎殿伴子、

村瀬正光、望月香代、依田郁乃、

Giglio Emanuele Davide、Jill Emma Strothman

研究生 池田優季名、岡村達人、鈴木義孝、深澤葉子、

森田信宏、依田 司

○研究所員による海外研究発表・講演など（主要仏教関係のみ）

・令和二年九月一〇日～一五日

望月海慧、「マニエスクリプト・ブッディカ、ヴィハーラ科研

共同ワークショップ」

（イタリア、ナポリ大学東洋学部プローチダ分室）

・令和元年八月二十五日～令和二年三月三十一日

岡田文弘・「日蓮宗 海外研究派遣」(アメリカ、ハーバード大学)

・令和二年二月一日～二月二十三日

望月海慧・「スリランカ仏教調査」(スリランカ国内仏蹟)

○研究所学術交流・学術交流

本研究所では現在、大韓民国東国大学校仏教文化研究院及び大韓民国金剛大学校仏教文化研究所、大韓民国高麗大藏経研究所と学術交流を行っている。令和元度は特に大韓民国東国大学校仏教文化研究院とともに身延文庫調査などを行った。今後、三・四年をかけて本研究所と東国大学校仏教文化研究院の二所での研究成果を形とすべく、更なる共同研究を行っていくことで合意を得ており、本年度は『身延山資料叢書』第八号を共同研究号として刊行した。来年度は大韓民国東国大学校仏教文化研究院の研究員を招き、研究ワークショップもしくは合同研究会を開催予定である。

訃報

当研究所顧問 高橋堯昭先生(輪學院日顯上人 身延山大学名誉教授・香久山妙法寺第三三世)が令和元年一〇月三〇日に遷化されました。ここに謹んで増円妙道をお祈り申し上げます。